

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	特化型
信託期間	2028年6月13日まで (2013年9月20日設定)	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピー・コース(毎月決算型)	アジア・リート・マスター・ファンド(I NR クラス)受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド(I NR クラス)	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している不動産投資信託(リート)等
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している不動産投資信託(リート)等に投資します。 不動産投資信託(リート)等の安定したインカムゲインの確保と、値上がり益、および為替差益の獲得を目指します。 シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託(リート)等に投資を行い(以下、不動産投資信託(リート)等の通貨のことを「原資産通貨」といいます)、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券(上記の受益証券をいいます。)への投資割合には制限を設けません。 1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。 	
分配方針	<p>毎月13日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、継続的に分配することをめざします。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)</p>	

◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限(分散投資規制)を設けており、投資対象に支配的な銘柄(寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄)が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。

* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指標における一発行体あたりの構成比率を指します。

◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託(リート)等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピー・コース(毎月決算型)



第134期(決算日:2025年1月14日)

第135期(決算日:2025年2月13日)

第136期(決算日:2025年3月13日)

第137期(決算日:2025年4月14日)

第138期(決算日:2025年5月13日)

第139期(決算日:2025年6月13日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピー・コース(毎月決算型)」は、去る6月13日に第139期の決算を行いましたので、法令に基づいて第134期～第139期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間: 営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間（過去6ヶ月間）の運用で主眼においておいたポイントをご説明させていただきます。
配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第139期末における主なリート市場への投資のポイント】

◎シンガポール

シンガポール市場は、期間を通じて概ね横ばいで推移しました。2025年3月末にかけては、米国経済のソフトランディング期待の高まりなどを背景に上昇しました。4月は米トランプ政権による関税政策や格付け会社による米国債の格付け引き下げなどから米長期金利の上昇や米ドル安をもたらしました。シンガポールの小売りといったサブセクターは、引き続き堅調なファンダメンタルズを示しています。また、2025年は複数のリートによる資金調達が成功しており、優良銘柄に対する投資家の強い関心を表しています。その結果、小売りは2025年初来で市場をアウトパフォームしています。投資家は引き続き米国の関税交渉の進展を注視していることからマクロ経済への懸念はリート市場に影響を与えることが予想されます。今後の不動産の用途別の見通しでは、小売りは政府による消費支援が期待されることなどからポジティブに見えています。オフィスは、トランプ関税の不確実性を受け、オフィス需給改善への見通しが不透明であることから慎重なスタンスを維持しています。産業用施設は、オフィスセクターの低迷の影響を受けるビジネスパークや中国経済の不振の影響から一部物流についてはネガティブに見えていますが、人工知能（AI）需要の高まりからシンガポールのデータセンターを強気に見ています。

(注) 上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

◎香港

香港市場は、香港の銀行間金利が低下し、借入コストが低下したことなどを好感した買いに支えられ堅調に推移しました。不動産の用途別の見通しでは、小売りは香港ドル安などの影響で香港市民による深圳への越境消費が落ち着いており、その悪影響はスーパーマーケットや大型の中華料理店に限られていることから、やや強気の見方をしています。オフィスは、需給環境の悪化を受け、グレードの高いオフィスの空室率が高水準で推移し、米トランプ関税の影響から賃貸契約が保留になるケースが増えていること、低グレードのオフィスビル不良資産の売却が増加していることなどから弱気なスタンスを維持しています。ホテルについては中立を維持していますが、香港へのインバウンド旅行者数が海外、中国本土の双方で低迷しています。特に中国本土と香港間の高速鉄道による移動のしやすさから、中国本土からの旅行者は日帰り旅行へとシフトしています。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
アジア株式インカム・チーム
ポートフォリオ・マネジャー
チュン・キョン・オン

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				債 組 入 比	債 先 物 比	投 証 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 謝	中 落	率		
110期(2023年1月13日)	円 3,869	円 45			% △1.6	% —	% —	% 99.0	百万円 32,046
111期(2023年2月13日)	3,965	45			3.6	—	—	99.0	32,876
112期(2023年3月13日)	3,717	45			△5.1	—	—	98.8	30,426
113期(2023年4月13日)	3,848	45			4.7	—	—	99.0	31,331
114期(2023年5月15日)	3,802	45			△0.0	—	—	99.1	30,803
115期(2023年6月13日)	3,720	45			△1.0	—	—	99.1	30,113
116期(2023年7月13日)	3,637	45			△1.0	—	—	99.1	28,966
117期(2023年8月14日)	3,729	45			3.8	—	—	99.1	29,356
118期(2023年9月13日)	3,664	45			△0.5	—	—	99.0	28,327
119期(2023年10月13日)	3,544	45			△2.0	—	—	99.1	27,056
120期(2023年11月13日)	3,460	45			△1.1	—	—	98.8	25,734
121期(2023年12月13日)	3,483	45			2.0	—	—	99.2	25,268
122期(2024年1月15日)	3,597	45			4.6	—	—	97.8	25,599
123期(2024年2月13日)	3,496	45			△1.6	—	—	99.0	24,283
124期(2024年3月13日)	3,352	45			△2.8	—	—	98.7	22,853
125期(2024年4月15日)	3,299	45			△0.2	0.0	—	99.0	21,874
126期(2024年5月13日)	3,325	45			2.2	0.0	—	99.1	21,588
127期(2024年6月13日)	3,174	45			△3.2	0.0	—	99.1	20,048
128期(2024年7月16日)	3,359	45			7.2	0.0	—	99.2	20,793
129期(2024年8月13日)	3,059	45			△7.6	0.0	—	99.0	18,603
130期(2024年9月13日)	3,189	45			5.7	0.0	—	99.1	19,327
131期(2024年10月15日)	3,277	25			3.5	0.0	—	99.0	19,562
132期(2024年11月13日)	3,148	25			△3.2	0.0	—	98.4	18,103
133期(2024年12月13日)	3,009	25			△3.6	0.0	—	99.3	16,382
134期(2025年1月14日)	3,033	25			1.6	0.0	—	99.1	15,880
135期(2025年2月13日)	2,948	25			△2.0	0.0	—	99.3	15,008
136期(2025年3月13日)	2,890	25			△1.1	0.0	—	99.2	14,460
137期(2025年4月14日)	2,644	25			△7.6	0.0	—	99.2	13,024
138期(2025年5月13日)	2,878	25			9.8	0.0	—	99.1	14,132
139期(2025年6月13日)	2,868	25			0.5	0.0	—	99.0	13,876

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債組入比率	債先物比率	投 資 信 託券 組 入 比 率
		騰 落 率	%			
第134期	(期 首) 2024年12月13日	円 3,009	% —	% 0.0	% —	% 99.3
	12月末	3,072	2.1	0.0	—	99.0
	(期 末) 2025年1月14日	3,058	1.6	0.0	—	99.1
第135期	(期 首) 2025年1月14日	3,033	—	0.0	—	99.1
	1月末	2,978	△1.8	0.0	—	99.3
	(期 末) 2025年2月13日	2,973	△2.0	0.0	—	99.3
第136期	(期 首) 2025年2月13日	2,948	—	0.0	—	99.3
	2月末	2,854	△3.2	0.0	—	99.0
	(期 末) 2025年3月13日	2,915	△1.1	0.0	—	99.2
第137期	(期 首) 2025年3月13日	2,890	—	0.0	—	99.2
	3月末	3,015	4.3	0.0	—	99.3
	(期 末) 2025年4月14日	2,669	△7.6	0.0	—	99.2
第138期	(期 首) 2025年4月14日	2,644	—	0.0	—	99.2
	4月末	2,818	6.6	0.0	—	98.9
	(期 末) 2025年5月13日	2,903	9.8	0.0	—	99.1
第139期	(期 首) 2025年5月13日	2,878	—	0.0	—	99.1
	5月末	2,843	△1.2	0.0	—	98.9
	(期 末) 2025年6月13日	2,893	0.5	0.0	—	99.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

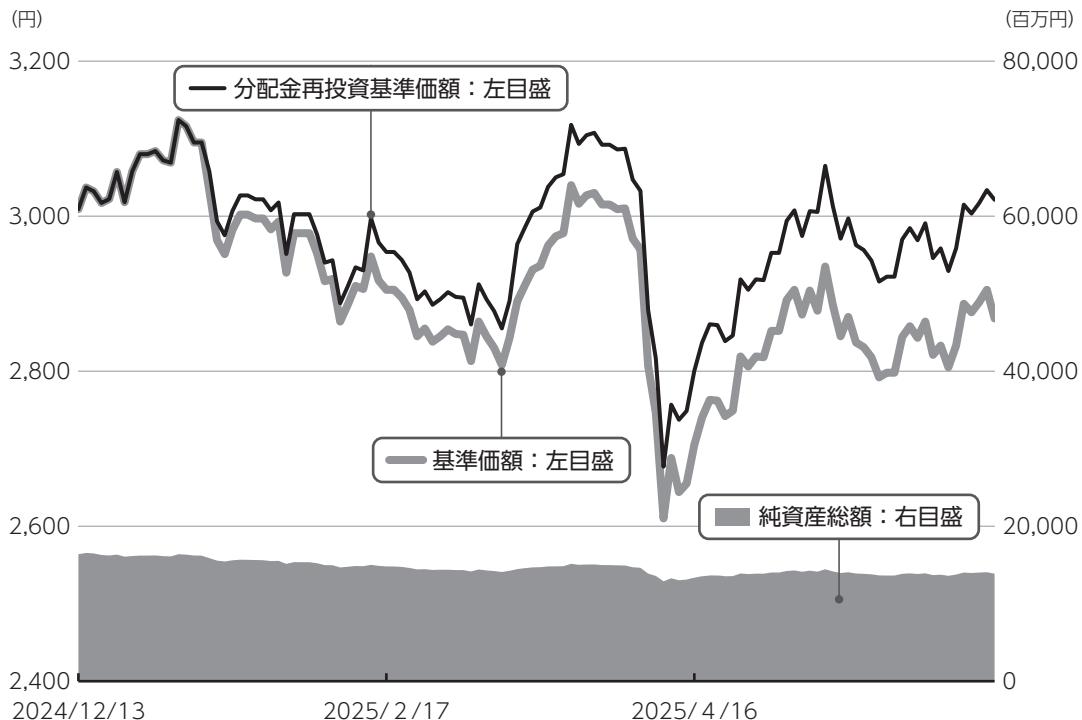
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第134期～第139期：2024年12月14日～2025年6月13日

〉当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第134期首	3,009円
第139期末	2,868円
既払分配金	150円
騰落率	0.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

》基準価額の主な変動要因

上昇要因

シンガポールや香港のリート価格が上昇したことが、基準価額のプラスに寄与しました。

個別銘柄では、「LINK REIT」（小売り／香港）や「CAPITALAND INTEGRATED CO」（複合／シンガポール）の上昇などが基準価額のプラスに寄与しました。

原資産通貨*売り／インド・ルピー買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が、基準価額のプラスに寄与しました。

*投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

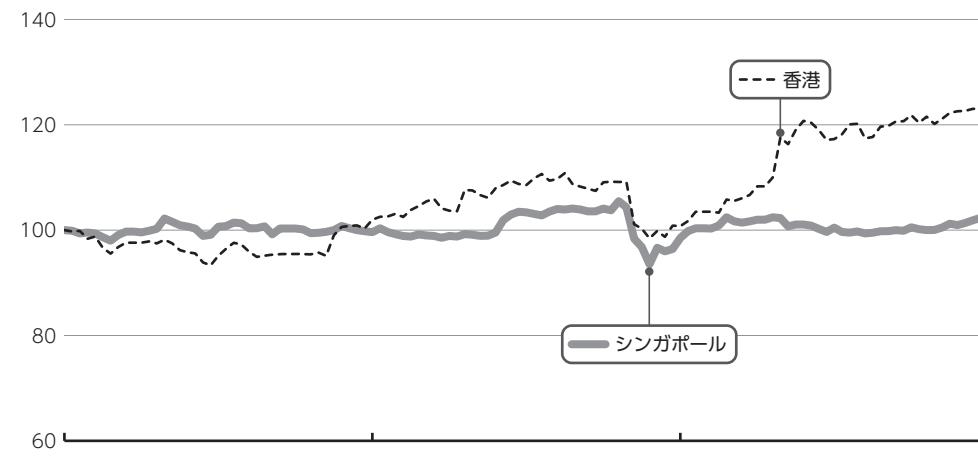
下落要因

インド・ルピーが円に対して下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

第134期～第139期：2024年12月14日～2025年6月13日

▶投資環境について

アジア・リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



(注) グラフは S & P グローバル R E I T 指数のうち、上記 2 カ国・地域の各指数（現地通貨建配当込み）を使用しています。

(注) S & P グローバル R E I T 指数とは、S & P ダウ・ジョーンズ・インデックス L L C が有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託（R E I T）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数は S & P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S & P D J I）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P D J I は、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

(注) 現地日付ベースで記載しております。

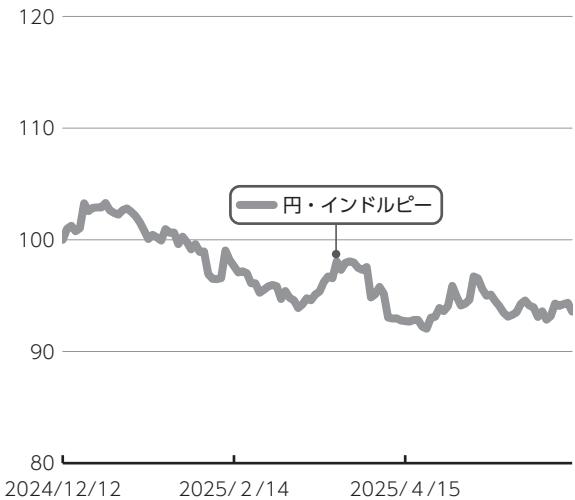
▶アジア・リート市況

アジア・リート市場は、当期間を通して上昇しました。

期間の初めから2025年3月末にかけては、中国による景気刺激策への期待などを背景に香港を中心に上昇しました。その後、4月にはトランプ米政権による関税引き上げなどの政策を受けて、世界的な景気後退や貿易戦争の激化への懸念が高まつたことなどから大きく下落する局面が

あったものの、期間の終わりにかけては、中国証券監督管理委員会が上海・香港ストック・コネクトを通じて、中国本土の投資家が香港市場に上場するリートに投資することができるようになると示唆したことなどから、香港を中心に上昇し、期間を通してみるとアジア・リート市場は上昇しました。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況

当期間を通してみると、インド・ルピーは対円で下落しました。

インド・ルピーについては、景気減速やインフレの高止まりへの警戒感などを背景にインドから資金が流出していることなどから、当期間を通して対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市场

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

》当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

当期間を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

「LENDLEASE GLOBAL COMMERC」（複合／シンガポール）を新規組入した一方で、「KEPPEL REIT」（オフィス／シンガポール）を全売却しました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的にインド・ルピー建となるように原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第134期 2024年12月14日～ 2025年1月14日	第135期 2025年1月15日～ 2025年2月13日	第136期 2025年2月14日～ 2025年3月13日	第137期 2025年3月14日～ 2025年4月14日	第138期 2025年4月15日～ 2025年5月13日	第139期 2025年5月14日～ 2025年6月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.818%)	25 (0.841%)	25 (0.858%)	25 (0.937%)	25 (0.861%)	25 (0.864%)
当期の収益	21	21	19	23	22	20
当期の収益以外	3	3	5	1	2	4
翌期繰越分配対象額	646	642	637	635	633	628

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。

原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

米国の関税の動向や米連邦準備制度理事会（F R B）の金利見通しの変化が金融市場に影響を与えています。米国の関税政策による米中貿易摩擦に対する懸念の高まりはアジアの投資家にとって、主要な焦点となっています。また、今後は米

国の財政政策による米ドルや米国債市場への影響を注視する必要があります。

本ファンドは、高利回りで強固なバランスシートを持つ品質の高い銘柄に投資を続けています。今後も、市場価格が個別銘柄の価値を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを分析し、ポートフォリオを構築する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2024年12月14日～2025年6月13日

〉1万口当たりの費用明細

項目	第134期～第139期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	18	0.621	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(6)	(0.192)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(12)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	18	0.627	

作成期中の平均基準価額は、2,905円です。

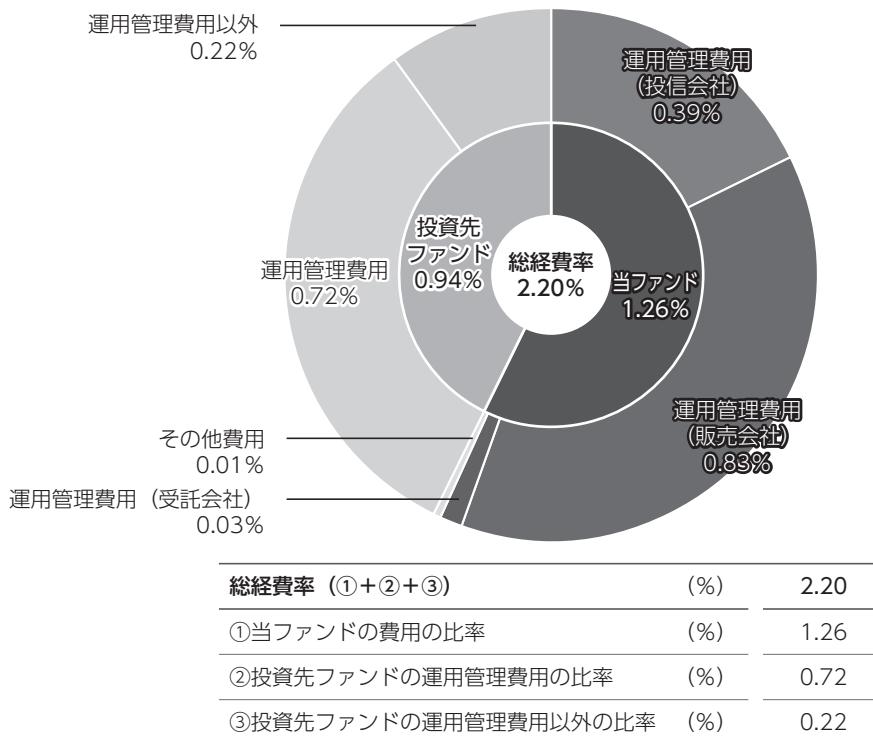
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.20%です。**



(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月14日～2025年6月13日)

投資信託証券

銘 柄		第134期～第139期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	千口	千円	千口	千円
		1,611,543	712,011	5,996,457	2,649,390

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月14日～2025年6月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第133期末		第139期末	
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
アシア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）		千口	千口	千円	%
合 計		35,792,329	31,407,416	13,743,885	99.0

(注) 比率は国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄		第133期末		第139期末	
		口 数	口 数	評 価 額	
マネー・プール マザーファンド		千口	千口	千円	100
		99	99		

○投資信託財産の構成

(2025年6月13日現在)

項目	第139期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 13,743,885	% 97.8
マネー・プール マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	316,032	2.2
投資信託財産総額	14,060,017	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末
	2025年1月14日現在	2025年2月13日現在	2025年3月13日現在	2025年4月14日現在	2025年5月13日現在	2025年6月13日現在
(A) 資産	円 16,043,933,706	円 15,225,638,157	円 14,652,240,910	円 13,212,298,017	円 14,288,801,684	円 14,060,017,607
コール・ローン等	312,145,836	318,367,166	311,854,161	289,635,407	278,087,404	316,028,072
投資信託受益証券(評価額)	15,731,685,967	14,907,166,842	14,340,282,653	12,922,558,758	14,010,610,528	13,743,885,262
マネー・プール マザーファンド(評価額)	100,080	100,109	100,139	100,179	100,219	100,259
未収利息	1,823	4,040	3,957	3,673	3,533	4,014
(B) 負債	円 163,574,722	円 216,722,873	円 191,932,419	円 187,939,698	円 156,772,938	円 183,330,751
未払収益分配金	130,910,842	127,273,730	125,068,513	123,164,252	122,738,418	120,962,095
未払解約金	14,804,878	73,683,234	52,938,299	48,775,284	20,258,817	47,595,290
未払信託報酬	17,702,353	15,627,622	13,803,463	15,859,819	13,654,873	14,643,786
その他未払費用	156,649	138,287	122,144	140,343	120,830	129,580
(C) 純資産総額(A-B)	円 15,880,358,984	円 15,008,915,284	円 14,460,308,491	円 13,024,358,319	円 14,132,028,746	円 13,876,686,856
元本	52,364,336,872	50,909,492,393	50,027,405,558	49,265,701,071	49,095,367,357	48,384,838,094
次期繰越損益金	△36,483,977,888	△35,900,577,109	△35,567,097,067	△36,241,342,752	△34,963,338,611	△34,508,151,238
(D) 受益権総口数	52,364,336,872口	50,909,492,393口	50,027,405,558口	49,265,701,071口	49,095,367,357口	48,384,838,094口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,033円	2,948円	2,890円	2,644円	2,878円	2,868円

○損益の状況

項目	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期
	2024年12月14日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月13日	2025年2月14日～ 2025年3月13日	2025年3月14日～ 2025年4月14日	2025年4月15日～ 2025年5月13日	2025年5月14日～ 2025年6月13日
(A) 配当等収益	円	円	円	円	円	円
受取配当金	117,871,268	124,362,602	111,342,524	132,223,407	111,327,503	111,628,819
受取利息	117,829,565	124,311,370	111,281,999	132,157,102	111,277,545	111,573,004
	41,703	51,232	60,525	66,305	49,958	55,815
(B) 有価証券売買損益	155,593,373	△ 411,477,534	△ 260,472,730	△ 1,208,893,433	1,177,430,301	△ 25,378,397
売買益	325,210,837	225,535,203	288,461,079	2,819,495	1,232,433,079	561,559,164
売買損	△ 169,617,464	△ 637,012,737	△ 548,933,809	△ 1,211,712,928	△ 55,002,778	△ 586,937,561
(C) 信託報酬等	△ 17,859,002	△ 15,765,909	△ 13,925,607	△ 16,000,162	△ 13,775,703	△ 14,773,366
(D) 当期損益金（A+B+C）	255,605,639	△ 302,880,841	△ 163,055,813	△ 1,092,670,188	1,274,982,101	71,477,056
(E) 前期繰越損益金	△10,781,799,389	△10,315,433,900	△10,508,621,601	△10,578,495,026	△11,710,162,271	△10,323,689,703
(F) 追加信託差損益金	△25,826,873,296	△25,154,988,638	△24,770,351,140	△24,447,013,286	△24,405,420,023	△24,134,976,496
(配当等相当額)	(3,405,433,322)	(3,290,667,933)	(3,215,352,639)	(3,139,171,742)	(3,121,409,301)	(3,064,105,140)
(売買損益相当額)	(△29,232,306,618)	(△28,445,656,571)	(△27,985,703,779)	(△27,586,185,028)	(△27,526,829,324)	(△27,199,081,636)
(G) 計(D+E+F)	△36,353,067,046	△35,773,303,379	△35,442,028,554	△36,118,178,500	△34,840,600,193	△34,387,189,143
(H) 収益分配金	△ 130,910,842	△ 127,273,730	△ 125,068,513	△ 123,164,252	△ 122,738,418	△ 120,962,095
次期繰越損益金（G+H）	△36,483,977,888	△35,900,577,109	△35,567,097,067	△36,241,342,752	△34,963,338,611	△34,508,151,238
追加信託差損益金	△25,847,610,085	△25,173,665,650	△24,798,002,704	△24,453,954,255	△24,418,021,126	△24,159,083,097
(配当等相当額)	(3,384,696,533)	(3,271,990,921)	(3,187,701,075)	(3,132,230,773)	(3,108,808,198)	(3,039,998,539)
(売買損益相当額)	(△29,232,306,618)	(△28,445,656,571)	(△27,985,703,779)	(△27,586,185,028)	(△27,526,829,324)	(△27,199,081,636)
繰越損益金	△10,636,367,803	△10,726,911,459	△10,769,094,363	△11,787,388,497	△10,545,317,485	△10,349,068,141

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 54,448,320,031円

作成期中追加設定元本額 1,043,910,160円

作成期中一部解約元本額 7,107,392,097円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.2868円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,508,151,238円です。

③分配金の計算過程

項目	2024年12月14日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月13日	2025年2月14日～ 2025年3月13日	2025年3月14日～ 2025年4月14日	2025年4月15日～ 2025年5月13日	2025年5月14日～ 2025年6月13日
費用控除後の配当等収益額	110,174,053円	108,596,718円	97,416,949円	116,223,283円	110,137,315円	96,855,494円
費用控除後・繰越欠損金償填後の有価証券売買等損益額	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	3,405,433,322円	3,290,667,933円	3,215,352,639円	3,139,171,742円	3,121,409,301円	3,064,105,140円
分配準備積立金額	-円	-円	-円	-円	-円	-円
当ファンドの分配対象収益額	3,515,607,375円	3,399,264,651円	3,312,769,588円	3,255,395,025円	3,231,546,616円	3,160,960,634円
1万口当たり収益分配対象額	671円	667円	662円	660円	658円	653円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金額	130,910,842円	127,273,730円	125,068,513円	123,164,252円	122,738,418円	120,962,095円

○分配金のお知らせ

	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三義UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせくださいか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	アジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）
運用方針及び投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）における為替取引は、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 1発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投 資 顧 問 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2013年9月20日
会 計 年 度 末	毎年8月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について

イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。アジア・アフリカ地域を中心に金融サービスを展開する英国ブルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

アジア・リート・マスター・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2024年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（源泉徴収税控除後）	\$	11,723,844
利息		2,253
投資収益合計		11,726,097

費用

運用受託報酬	1,249,308
保管費用	335,737
会計処理および管理手数料	197,259
通貨管理代行手数料	153,424
専門家報酬	75,067
名義書換事務代行手数料	48,959
登録料	10,199
受託者報酬	10,000
費用合計	2,079,953

投資純利益

9,646,144

実現および未実現損益：**実現損益：**

投資有価証券	(39,190,493)
外国通貨取引および為替予約取引	(3,363,832)
実現純損益	(42,554,325)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	36,459,308
外国通貨取引および為替予約取引	386,804
未実現評価損益の純変動	36,846,112

実現および未実現損益（純額）

(5,708,213)

運用による純資産の増減（純額）

\$ 3,937,931

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2024年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

運用による純資産の増減額 :

投資純損益	\$ 9,646,144
実現純損益	(42,554,325)
未実現評価損益の純変動	36,846,112
運用による純資産の増減額	3,937,931

分配額	(16,738,150)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額	(75,684,940)
純資産の増減額	(88,485,159)

純資産

期首	278,815,868
期末	\$ 190,330,709

	IDRクラス	INRクラス	JPYクラス
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	65,332,041	—	344,649,233
買戻し	114,082,368	4,086,864,216	60,210,792
償還	(545,516,480)	(20,764,249,933)	(1,491,745,697)
ユニット増減数	(366,102,071)	(16,677,385,717)	(1,086,885,672)
金額			
発行	\$ 226,631	\$ —	\$ 1,056,894
買戻し	390,880	13,161,367	180,196
償還	(1,867,730)	(66,956,945)	(4,507,136)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (1,250,219)	\$ (53,795,578)	\$ (3,270,046)

Local Currency クラス

ファンドユニット取引

ユニット数	
発行	222,897,304
買戻し	578,288,251
償還	(4,170,289,057)
ユニット増減数	(3,369,103,502)

金額	
発行	\$ 1,169,890
買戻し	3,005,707
償還	(21,544,694)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (17,369,097)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2024年8月30日現在)

(米ドルで表示)

<u>投資口数</u>	<u>銘柄名</u>		<u>純資産比率</u>	<u>公正価値</u>
	COMMON STOCKS (96.4%)			
	HONG KONG (17.5%)			
	REITS* (17.5%)			
2,933,000	Fortune	\$	1,598,027	
6,696,544	Link		31,678,180	
			<u>33,276,207</u>	<u>33,276,207</u>
	TOTAL HONG KONG (Cost \$59,072,745)			
	SINGAPORE (78.9%)			
	REITS* (78.9%)			
13,414,838	CapitaLand Ascendas		29,640,364	
11,719,467	CapitaLand Ascott Trust		8,181,913	
5,533,285	Capitaland India Trust		4,796,971	
16,921,497	CapitaLand Integrated Commercial Trust		27,522,018	
6,057,200	Digital Core Management Pte, Ltd.		3,694,892	
8,006,593	ESR-LOGOS		1,658,506	
4,958,465	Frasers Centrepoint Trust		9,053,778	
8,608,660	Frasers Logistics & Commercial Trust		7,198,926	
3,548,200	Keppel		2,395,501	
5,127,700	Keppel DC		8,379,302	
8,078,275	Mapletree Industrial Trust		15,122,169	
14,107,188	Mapletree Logistics Trust		14,719,226	
9,883,145	Mapletree Pan Asia Commercial Trust		10,387,747	
1,557,500	Parkway Life		4,480,897	
3,129,000	Suntec		<u>2,952,679</u>	<u>2,952,679</u>
			<u>150,184,889</u>	<u>150,184,889</u>
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$157,979,915)			
	UNITED STATES (0.0%) ^(a)			
	REITS* (0.0%) ^(a)			
22,927,800	Eagle Hospitality Trust		<u>—^(b)</u>	<u>—^(b)</u>
	TOTAL UNITED STATES (Cost \$16,642,078)			
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$233,694,738)			<u>183,461,096</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$233,694,738)	96.4%	\$	<u>183,461,096</u>
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	<u>3.6</u>		<u>6,869,613</u>
	NET ASSETS	<u>100.0%</u>	\$	<u>190,330,709</u>

* REITS — Real Estate Investment Trust

(a) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

(b) A zero balance may reflect amounts rounding to less than \$1.

I D R クラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益(純額)
IDR	JPMorgan Chase Bank N.A.	72,788,129,736	09/30/2024	USD	4,689,655	\$ 15,124	\$ —	\$ 15,124
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	3,476,127	09/30/2024	SGD	4,526,599	—	(2,088)	(2,088)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	75,038	09/30/2024	HKD	584,408	32	—	32
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	731,714	09/30/2024	HKD	5,698,842	299	—	299
					\$ 15,455	\$ (2,088)		\$ 13,367

(2024年8月30日現在)

I N R クラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益(純額)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,617,729,806	09/04/2024	USD	19,288,252 \$	— \$	— \$	* \$
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	10,685,464,072	09/30/2024	USD	127,356,109	—	(54,060)	(54,060)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	10,685,464,072	09/30/2024	USD	127,162,490	139,558	—	139,558
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	5,824,871	09/04/2024	USD	4,468,296	514	—	514
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	131,282,872	09/30/2024	USD	100,815,740	61,361	—	61,361
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	19,481,134	09/04/2024	INR	1,617,729,806	192,883	—	192,883
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	4,423,612	09/04/2024	SGD	5,824,871	—	(45,198)	(45,198)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	100,815,740	09/30/2024	SGD	131,282,872	—	(61,361)	(61,361)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	100,860,594	09/30/2024	SGD	131,282,872	—	(16,508)	(16,508)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,409,184	09/30/2024	HKD	10,975,007	604	—	604
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	21,662,164	09/30/2024	HKD	168,712,550	8,864	—	8,864
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	127,162,490	09/30/2024	INR	10,685,464,072	—	(139,558)	(139,558)
					\$ 403,784	\$ (316,685)	\$ 87,099	

J P Y クラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益(純額)
JPY	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,257,695,266	09/30/2024	USD	8,722,109 \$	— \$	(51,701) \$	(51,701)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	397,760	09/30/2024	SGD	518,047	—	(305)	(305)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	6,289,785	09/30/2024	SGD	8,190,532	—	(3,778)	(3,778)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	80,027	09/30/2024	HKD	623,267	34	—	34
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,417,573	09/30/2024	HKD	11,040,558	580	—	580
					\$ 614	\$ (55,784)	\$ (55,170)	

* Net Unrealized Appreciation/(Depreciation) is less than \$1.

デリバティブ商品の額

店頭デリバティブ 為替予約	取引相手	デリバティブ		受取担保金*	差入担保金*	純額**
		資産の額	負債の額			
店頭デリバティブ 為替予約	JPMorgan Chase Bank N.A.	\$ 419,853	\$ (374,557)	—	—	\$ 45,296
マスターネッティング契約の 対象となるデリバティブ合計		\$ 419,853	\$ (374,557)	—	—	\$ 45,296
資産および負債における 店頭デリバティブ合計		\$ 419,853	\$ (374,557)			

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/(payable) that would be due from/to the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

(2024年8月30日現在)

通貨略称

HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
SGD	-	Singapore Dollar
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第31期》決算日2025年1月14日

[計算期間：2024年7月17日～2025年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第31期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第31期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債券率		債券率	債券率	純資産額
		組入率	券率			
27期(2023年1月16日)	円 10,036	% △0.0	% —	% —	% —	百万円 47
28期(2023年7月14日)	10,035	△0.0	—	—	—	141
29期(2024年1月15日)	10,034	△0.0	—	—	—	52
30期(2024年7月16日)	10,038	0.0	73.4	—	—	27
31期(2025年1月14日)	10,048	0.1	80.9	—	—	24

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債券率		債券率	債券率	債券率
		騰落率	率			
(期首) 2024年7月16日	円 10,038	% —	%	% 73.4	% —	% —
7月末	10,038	0.0		93.6		—
8月末	10,040	0.0		60.7		—
9月末	10,042	0.0		64.5		—
10月末	10,044	0.1		64.5		—
11月末	10,045	0.1		64.4		—
12月末	10,047	0.1		81.1		—
(期末) 2025年1月14日	10,048	0.1		80.9		—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

- 当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き
基準価額は期間の初めに比べ0.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年7月17日～2025年1月14日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2024年7月17日～2025年1月14日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,399,473	千円 1,399,536

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2024年7月17日～2025年1月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 20,000 (20,000)	千円 19,947 (19,947)	% 80.9 (80.9)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 80.9 (80.9)
合計	20,000 (20,000)	19,947 (19,947)	80.9 (80.9)	— (—)	— (—)	— (—)	80.9 (80.9)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	% —	千円 20,000	千円 19,947	—
第1257回国庫短期証券※				
合計		20,000	19,947	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 19,947	% 80.9
コール・ローン等、その他	4,714	19.1
投資信託財産総額	24,661	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月14日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 24,661,483
コレ・ローン等	4,713,656
公社債(評価額)	19,947,800
未収利息	27
(B) 負債	5
未払解約金	5
(C) 純資産総額(A-B)	24,661,478
元本	24,543,675
次期繰越損益金	117,803
(D) 受益権総口数	24,543,675口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,048円

<注記事項>

①期首元本額	27,147,403円
期中追加設定元本額	9,128,539円
期中一部解約元本額	11,732,267円

また、1口当たり純資産額は、期末1.0048円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マネー・プール・ファンドVI	19,801,764円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
世界投資適格債オープン (為替ヘッジあり) (毎月決算型)	99,661円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
合計	24,543,675円

○損益の状況 (2024年7月17日～2025年1月14日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 16,502
受取利息	16,502
(B) 当期損益金(A)	16,502
(C) 前期繰越損益金	103,182
(D) 追加信託差損益金	42,883
(E) 解約差損益金	△ 44,764
(F) 計(B+C+D+E)	117,803
次期繰越損益金(F)	117,803

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。